

平成27年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

I 予算編成の考え方

公立大学法人島根県立大学は、平成19年度に3大学の統合により設立し、「島根県立大学憲章」に掲げる理念に従い教育研究の活性化及び地域貢献、国際交流等の推進に全学を挙げて取り組んできました。

平成27年度は、第2期中期計画期間（平成25年度～平成30年度）の3年目であり、これまでの取組の成果を継承し、第2期中期計画の達成に向けた取組を着実に進める年度となります。

一方で、法人運営の効率化を促す趣旨から平成27年度以後も引き続き運営費交付金の減額が継続される見込みであり、自律的な運営のための経費削減努力、効果的な事業執行、自己財源の確保等はますます必要となっています。

このため、平成27年度予算案は、平成27年度計画の重点分野（①社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革、②地（知）の拠点整備事業の着実な実践、③学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化、④国際交流、海外留学等の促進）を中心とする同年度計画の着実な実施に必要な事業に対し、重点的かつ効果的に措置することを基本方針として編成を行いました。

II 当初予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は、31億40百万円で、前年度予算（32億6百万円）に比べ、2.1%減（66百万円減）となっています。

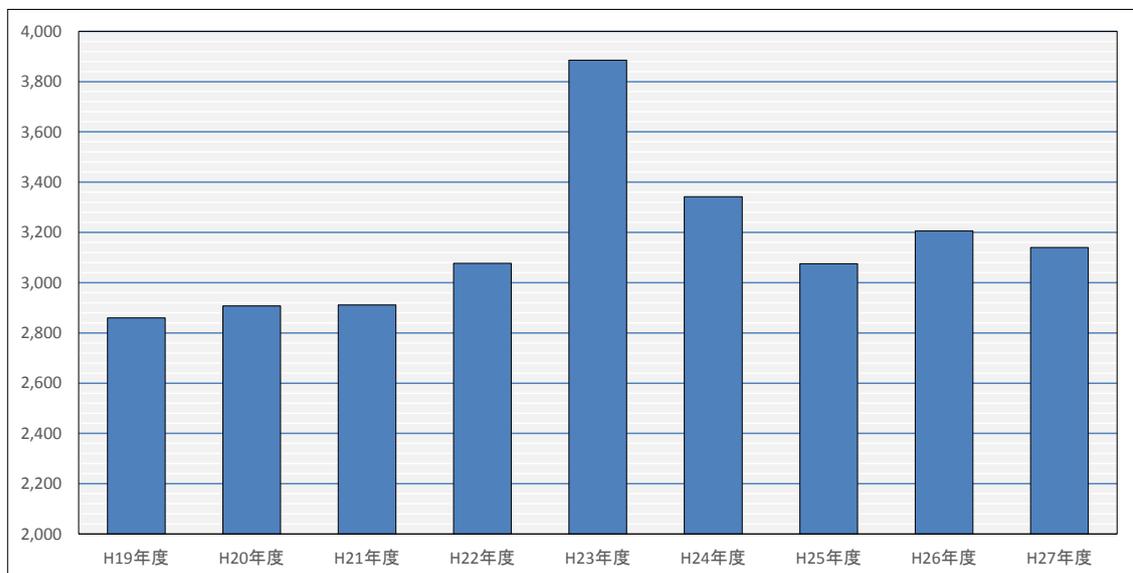
(単位:千円、%)

区 分	平成27年度当初	平成26年度当初	増 減	増減率
予算規模	3,139,717	3,206,120	▲66,403	▲2.1

【参考 当初予算規模の推移】

(単位:百万円)

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
2,860	2,907	2,911	3,077	3,885	3,342	3,075	3,206	3,140



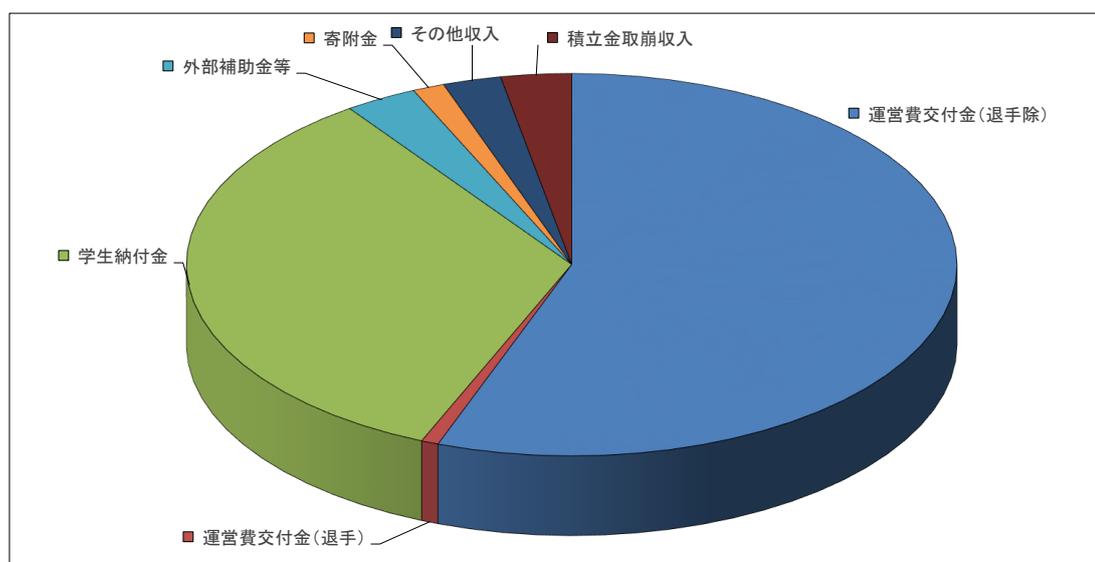
2. 収入予算

(単位:千円、%)

区 分	平成27年度当初		平成26年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	1,746,690	55.6	1,749,159	54.6	▲2,469	▲0.1
学生納付金	1,062,735	33.8	1,021,600	31.9	41,135	4.0
県補助金		0.0	35,154	1.1	▲35,154	皆減
外部補助金等	95,664	3.0	104,953	3.3	▲9,289	▲8.9
寄附金	42,000	1.3	43,500	1.4	▲1,500	▲3.4
その他収入	76,775	2.4	89,584	2.8	▲12,809	▲14.3
計	3,023,864	96.3	3,043,950	94.9	▲20,086	▲0.7
運営費交付金(退手)	22,853	0.7	68,248	2.1	▲45,395	▲66.5
積立金取崩収入	93,000	3.0	93,922	2.9	▲922	▲1.0
合 計	3,139,717	100.0	3,206,120	100.0	▲66,403	▲2.1

- 運営費交付金と学生納付金の合計で収入全体の89.4%を占めています。
- 運営費交付金(退職手当除き)は、効率化(▲1.0%)、標準収入の見直し等により、総額で2百万円減(▲0.1%)となっています。
- 学生納付金は、四大化した出雲キャンパスの学年進行等により、41百万増(+4.0%)となっています。
- 県補助金は、松江キャンパス2号館のエレベーター設置工事が県の直接執行により実施されることから皆減となっています。
- 外部補助金等は、文部科学省教育関係補助金等を計上し、9百万円減(▲8.9%)となっています。
- 寄附金は、島根県立大学未来ゆめ基金事業及び旧北東アジア学術交流財団寄附金事業に充てるための収入を計上し、2百万円減(▲3.4%)となっています。
- 積立金取崩収入は、前中期目標期間繰越積立金を財源として実施する事業に充てるための収入として計上し、1百万円減(▲1.2%)となっています。

※目的積立金充当事業・・・教育向上、学生支援、研究支援、学生確保、業務改善、環境整備等に資する事業



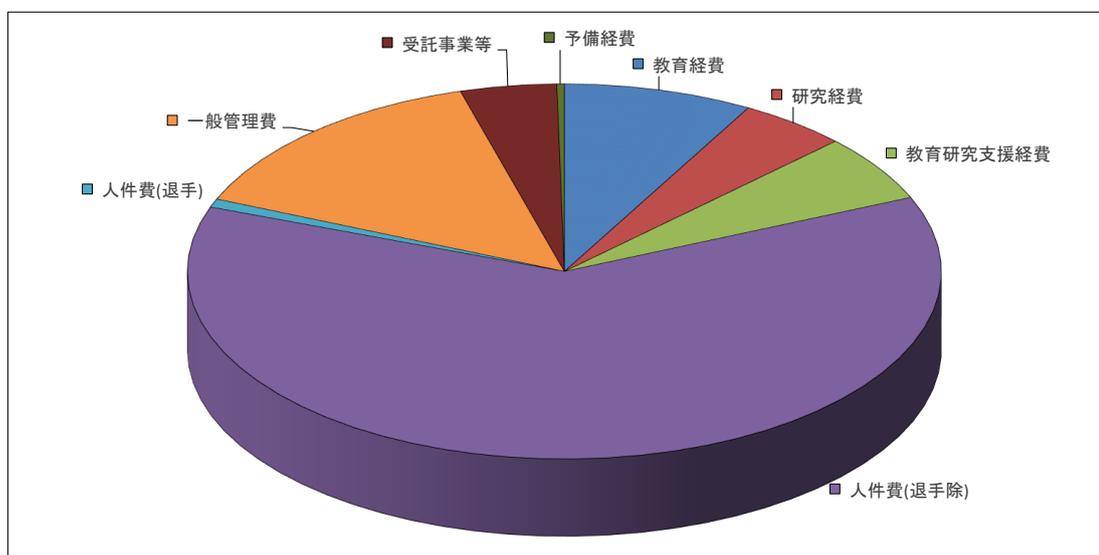
3. 支出予算

(単位:千円、%)

区 分	平成27年度当初		平成26年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	255,039	8.1	251,921	7.9	3,118	1.2
研究経費	146,516	4.7	158,744	5.0	▲12,228	▲7.7
教育研究支援経費	180,746	5.8	160,709	5.0	20,037	12.5
人件費(退手除)	1,947,546	62.0	1,926,297	60.1	21,249	1.1
一般管理費	447,178	14.2	467,723	14.6	▲20,545	▲4.4
施設費事業		0.0	35,154	1.1	▲35,154	皆減
受託事業等	129,669	4.1	126,383	3.9	3,286	2.6
予備経費	10,170	0.3	10,941	0.3	▲771	▲7.0
計	3,116,864	99.3	3,137,872	97.9	▲21,008	▲0.7
人件費(退手)	22,853	0.7	68,248	2.1	▲45,395	▲66.5
合 計	3,139,717	100.0	3,206,120	100.0	▲66,403	▲2.1
特定財源支出除き	2,894,195		2,882,413		11,782	0.4

- 教育経費は、奨学制度経費の増等により、3百万円の増を見込んでいます。
- 研究経費は、科研費間接経費の減等により、12百万円の減を見込んでいます。
- 教育研究支援経費は、情報システムの保守管理経費の増、コンピューター機器等リース料の増等により、20百万円の増を見込んでいます。
- 人件費（退職手当を除く。）は、管理職手当支給対象者の追加（国際交流センター長、北東アジア地域研究センター副センター長）、給与改定による増、昇給及び昇格に伴う増等により、21百万円の増を見込んでいます。
- 一般管理費は、施設修繕等の減等により、21百万円の減を見込んでいます。
- 施設費事業は、松江キャンパス2号館のエレベーター設置工事が県の直接執行により実施されることから皆減となっています。
- 受託事業等は、旧北東アジア地域学術交流財団寄附金事業費40百万円を計上し、認定看護師の教育機関開設準備事業の受託による増等により、3百万円の増を見込んでいます。
- 予備経費は、年度途中の緊急的な支出に備えるため、10百万円を計上しています。
- 支出総額は、66百万円減（▲2.1%）となっていますが、特定財源による支出を除くと28億94百万円で、前年度に比べ12百万円増（+0.4%）となっています。

※特定財源：運営費交付金(退手)、県補助金、外部補助金、受託研究等収入、旧NEAR寄附金、積立金取崩収入



4. 事業概要

重点分野

1. 社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革

- | | |
|--|-----------|
| (1) 大学院（看護学研究科）開設準備事業（出雲C）〈新規〉 | 740 千円 |
| ・平成28年度開設予定の大学院（看護学研究科）の開設準備を行う。 | |
| (2) 認定看護師教育機関開設準備事業（出雲C）〈新規〉 | 13,900 千円 |
| ・平成28年度開設予定の認定看護師教育課程（緩和ケア）の開設準備を行う。
（島根県からの受託事業） | |

2. 地（知）の拠点整備事業の着実な実践

- | | |
|---|-----------|
| 地（知）の拠点整備事業（全C）〈継続〉 | 55,738 千円 |
| ・平成25年度に文部科学省国庫補助事業として採択された「地（知）の拠点整備事業」について、平成29年度までの事業期間の3年目として、計画に基づき、地域のニーズ（課題）と大学のシーズ（資源）のマッチング（＝縁結び）、3キャンパス共通科目「しまね地域共生学入門」の開講及び松江キャンパスにおける「地域志向カリキュラム」の準備等、事業を着実に推進する。 | |

3. 学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化

- | | |
|--|-----------|
| (1) オープンキャンパスの充実（全C）〈継続〉 | 5,052 千円 |
| ・各キャンパスのオープンキャンパス開催内容の充実を図るとともに、オープンキャンパスの参加者増加に資する広報活動を集中的に実施する。 | |
| (2) 授業料奨学制度（全C）〈拡充〉 | 95,535 千円 |
| ・意欲ある学生への学修支援を行うために、経済的支援としての学修支援奨学金、入学時奨学金、成績優秀者奨学金等を学生に給付する。 | |
| (3) 公務員試験対策講座実施支援事業（浜田C）〈拡充〉 | 2,796 千円 |
| ・試験対策専門講座の実施により、公務員試験合格をめざす学生の支援を行う。
※短期集中講座開講（ガイダンス2日、夏期講座15日、春期講座3日）、チューター等謝金、WEB講座等受講料助成 | |
| (4) 就活バス運行支援事業（浜田C）〈新規〉 | 650 千円 |
| ・就職活動時期の後ろ倒し対策として県内企業が出展する就職説明会へ参加する学生の支援を行う。 | |

4. 国際交流、海外留学等の促進

- | | |
|---|-----------|
| (1) 海外留学・海外研修等に係る奨学金（全C）〈拡充〉 | 19,233 千円 |
| ・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、奨学金制度を継続・拡充し、学生の海外留学、海外研修等に対する支援の強化を図る。 | |
| ① 海外留学奨学金（浜田C） | |
| ・学長の許可を受けて協定留学（ダブルディグリー、交換留学、派遣留学）する学生に奨学金を支給する。
※新たな派遣先（ロシア海洋国立大学、ロシア極東連邦大学、中国吉林大学） ※（H26実績）16名 | |
| ② 海外研修奨学金等（全C） | |
| ・異文化理解研修、海外企業研修等に参加する学生に奨学金を支給する。 ※（H26実績）138名 | |
| (2) 海外企業研修事業（浜田C）〈拡充〉 | 3,380 千円 |
| ・グローバルに展開する企業への訪問、また学生との交流を通じて国際化の進む社会の様々な分野で活躍できる人材を育成する。
※研修先（インド、タイ） ※（H26実績）17名 | |
| (3) JCSOS緊急事故支援システム加入（法人本部）〈継続〉 | 681 千円 |
| ・学生の海外派遣に係るサポート体制を強化するため、海外派遣中の緊急事態発生時に情報収集等のサービスを提供するNPO法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)に加入する。 | |

※重点分野に対応する主な事業を掲載

重点広報事業

1. 地域への大学情報の発信

- (1) 法人広報誌作成(法人本部)〈継続〉 6,051 千円
・法人広報誌「オロリン」4・5号を発行し、地域へ大学情報をきめ細やかに発信する。
※発行予定(年2回) ※印刷部数(43,000部) ※配布先(県、市町村、高等学校、保護者等)

2. 受験生を対象にした情報発信

- (1) オープンキャンパス広報充実(法人本部)〈拡充〉 4,491 千円
・オープンキャンパスの参加者増加に資する広報活動を集中的に実施する。
※新聞広告(2回)、テレビCM(150本)、JR駅看板(浜田駅・出雲市駅・松江駅・米子駅)

3. 情報発信を行うための体制の強化と広報力のスキルアップ

- (1) スキルアップ研修の実施(法人本部)〈新規〉 162 千円
・教職員の広報力のスキルアップのため研修を実施する。

その他主要事業

1. 教育・学生支援

- (1) 大学院生学会発表等旅費等支援事業(浜田C)〈継続〉 950 千円
・大学院生による研究成果の発表、学会参加を奨励し学術研究を促進させるため、大学院生が学会発表、学会参加する際の旅費等を助成する。
- (2) 「島根の地域医療」フィールドワークの実施(出雲C)〈継続〉 1,543 千円
・2年次生が受講する科目「島根の地域医療」において、離島、中山間地域をはじめとする地域医療の現状を学ぶため、フィールドワークを実施する。
- (3) 「おはなしレストラン」事業(松江C)〈継続〉 8,245 千円
・絵本の読み聞かせを通じた学生の人間力育成のため、絵本文庫の運営、おはなしシェフの養成及び広く県民を対象とした読み聞かせ活動を実施する。
- (4) 学生地域ボランティア活動推進事業(全C)〈継続〉 663 千円
・学生が地域ボランティア活動等に安心して参加することができるよう、活動中の不測の事態に備えるための保険料を大学が負担するとともに、窓口機能の強化、学生との意見交換会の開催等を行い、学生ボランティア活動の推進を図る。

2. 研究

- コンプライアンス教育等経費(法人本部)〈新規〉 1,792 千円
・「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」(実施基準)(平成26年2月改正)に基づき教職員に対してコンプライアンス教育等を実施する。

3. 旧北東アジア地域学術交流財団(旧NEAR財団)寄附金事業 40,000 千円

- ①北東アジア学研究プロジェクト事業 6,200 千円
②共同プロジェクト研究助成事業 6,500 千円
③学術図書出版助成事業 2,000 千円
④研究員等招へい派遣助成事業 1,000 千円
⑤地域貢献プロジェクト助成事業 3,900 千円
⑥国際学術交流事業 3,569 千円
⑦留学生教育支援事業 15,631 千円
⑧国際文化交流促進事業 1,200 千円